

7月定例会

◆日時：7月29日（水）15:00－17:00

◆開催方法：リアル参加（5名まで）／オンライン参加のハイブリッド方式

◆場所：三菱電機システムサービス株式会社 Web 会議室(Cisco Webex)

（東京都品川区南品川 2-3-6 第7小池ビル 2F）

◆内容：「テレワークの現状と課題」

1. 「テレワークでオフィスはどう変わるか」

テレワークで業務効率が上がった企業、テレワークができない企業、テレワークで社員の自由度が高まった企業、中間管理職の仕事が増えた企業など、多くの企業が否応なくテレワークに取り組み、テレワークの長所と欠点に分かり、リアルなオフィスの意義が問われています。都心のオフィスはどうあるべきか、都心のオフィスと近郊外に分散したサテライトオフィスのハイブリッド運用、リアルオフィス無しの企業経営など、多くの企業がオフィスの課題に取り組み始めています。そうした一連の流れを基に、働き方の多様性に基づいたオフィスの多様性の在り方を述べます。（30分）

同志社大学名誉教授 三木光範

2. 三菱電機システムサービス株式会社から話題提供

(1) 「体験してわかった日本企業が抱えるテレワークの課題」

当社をはじめ多くの日本企業は緊急事態宣言発令前は、テレワークに対して消極的でした。ところがいざテレワークになり改めてわかった課題が多くありました。本セッションでは直面した課題や課題解決に取り組んだ事例や、外資系企業など既にテレワークを積極的に活用してきた企業との GAP を紹介させていただきます。（30分）

三菱電機システムサービス株式会社 梅本雅裕

（東京テレコム支社 ネットワークシステム部次長）

(2) 「テレワークから勉強会・イベントに最適なツール Cisco Webex のご紹介」

テレワークやオンラインミーティングなどの活用を余儀なくされた今回のコロナ禍。様々なテレワークツールがあふれています。当社では、テレワークから勉強会、授業、放送、国際会議、イベントで活躍する世界で最も採用されている Web 会議サービス「Cisco Webex」を簡単なデモを交えて紹介させていただきます。（30分）

三菱電機システムサービス株式会社 宮脇公望

（東京テレコム支社 ネットワークシステム部 コラボレーションエバンジェリスト）

3. ディスカッション（参加者との総合討論）（30分）

◆当日の写真



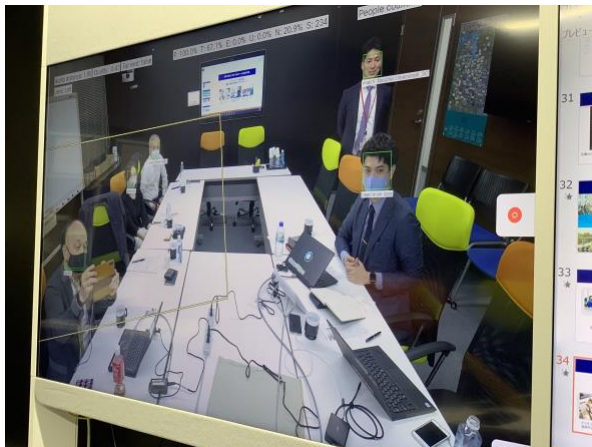
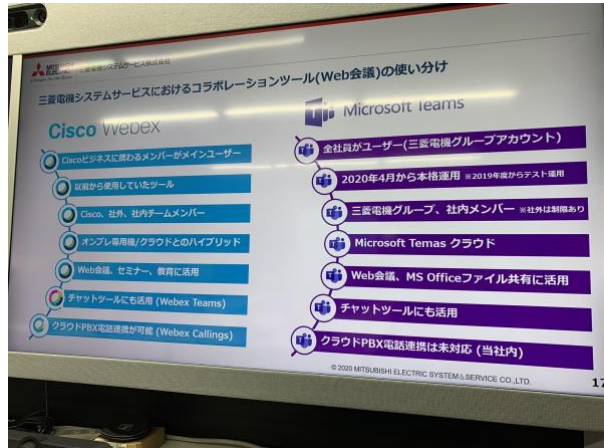
知的オフィス環境推進協議会 7月定例研究会

- ◆日時：2020年7月29日（水）15：00～17：00
- ◆開催方法：少数リアル参加／オンライン参加のハイブリッド方式
- ◆場所：三菱電機システムサービス株式会社Web会議室(Cisco Webex)
(東京都品川区南品川2-3-6 第7小池ビル2F)
- ◆アクセス：<https://www.melsc.co.jp/company/office/>

- ◆内容：「テレワークの現状と課題」
 1. 「テレワークでオフィスはどう変わるか」同志社大学名誉教授 三木光範
 2. 三菱電機システムサービス株式会社から話題提供
テレワークの現状、政府のオンライン会議、テレワークの課題、ネットワークの課題などを3名の方から話題提供をしていただきます。
 3. ディスカッション（参加者との総合討論）

今回の研究会は三菱電機システムサービス株式会社の梅本雅裕様に多大のご協力を頂くことになりました。







◆開催関係者への礼状

三菱電機システムサービス株式会社

梅本雅裕様

宮脇公望様

ご関係各位様

写：知的オフィス環境推進協議会運営委員各位
三木です。

昨日は貴社東京テレコム支社において、知的オフィス環境推進協議会の7月定例研究会を開催させていただき、誠に有り難うございました。

特に、今回は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、休会が続いていた中での本年度初めての定例研究会となり、また、初めてのオンラインとリアルを混合した初の会合となり、私にとりましては感慨深い研究会となりました。

やはり、貴社のシスコ社の大型の画面を持つテレプレゼンスシステムの迫力は素晴らしく、数名が参加したリアルミーティングとオンラインで参加された方とのスムーズなコミュニケーションもでき、素晴らしい研究会となりました。

梅本様の「テレワークでオフィスはどう変わるか」のお話では、貴社のテレワークの状況や、貴社とお付き合いのある会社の皆様の生のお話が聞けて、大変有益でした。印象的だったのは、やはり大企業の多くが国の非常事態宣言や、その他の方針に合わせて勤務状況が変化することでした。すなわち、非常事態宣言が出た時は出社が原則禁止状態になったのに、

非常事態宣言がなくなると入社する企業が増えていることです。このため、東京での新型コロナウイルスの感染者数とは連動せずに会社が動いていることを知り、驚きました。特に貴社のように、テレワーク設備を導入したり、改良あるいは増強を業務としている会社は仕事量が増えて大変だと思います。そうした中で、テレワークと会社、現場作業などを組み合わせながら、感染者を出さないように業務を進めておられること、さすがにテレワークに慣れている会社の体質だと感じました。

また、インターネットのトラフィックが3月頃から大きく増加していること、世界を相手にオンラインミーティングする際にはWebexが最適であること、貴社が国のオンライン設備の設置などに大きな役割を果たしていることも知り、Webexの世界でのネットワークの強さも理解できました。さらに、テレワークが中心となった業務における課題なども具体的な形で示していただき、有り難うございました。

一方、宮脇様からは、Webexの機能や使用例、使用方法などを具体的に示して頂き、オンラインミーティングのよりよい方法や、種々の機能などを知ることができ、大変有益でした。特に、Webexを使っておられるユーザの生の声や、新たに導入されるユーザ様のシステムの話、さらにはWebexとマイクロソフトのTeamsなどとの併用についても知ることができ、さすがオンラインミーティングの両巨頭のシステムだと思いました。シスコの専用端末ではかなり行き届いた機能があり、特に話している人をマイクロフォンアレイがその方向をセンシングしてカメラの向きを変えて話者を拡大して写すことや、専用のマイクロフォン、スピーカーを用いることで非常に鮮明に声を拾い、また流すシステムの使いやすさも印象的でした。こうしたハードウェアがシスコのWebexの大きな特徴であり、本格的にオンラインミーティングを使いたい場合には非常に有効に働くと思いました。シスコのWebexの真価はネットワーク制御技術、専用の大型ディスプレイ、専用のマイクロフォン、専用のスピーカーを用いることで、他のオンライン会議では実現できない高品質の映像と音声を実現できることがよく分かりました。ただ、一般的なPCを使う場合、Windows10であっても、できるだけ性能が高い機種を使うことで画像も音声も鮮明になることも実際に分かり、テレワークで準備する機材に関しては梅本様の話にも出てきたように、最新の種々の周辺装置なども効果的と分かりました。

総合討議においては、数名からのオンラインでの質問やコメントなども頂くことができ、オンライン研究会としては一応成功裏に終えることができたと思っております。

私のイントロでの話では、4月頃からのテレビのニュースで放送されたオフィス関連の話を中心に、テレワークの増加とオフィスの役割の変化について述べましたが、このウイズコロナの中で都心のオフィスを縮小する、あるいは廃止する企業も少なくない中、私は、都心のオフィスのあらたな価値を高め、面積が縮小した分だけ多くの企業にテナントになっていただき、ビル内での異業種交流の機会を増やす良い機会になると思っています。また、各社のオフィスは、もはや仕事をする場所では無くなり、顔を合わせて行うアイデアミーティン

グや、交流を通じての勉強会などの知識やスキルの増強場所、カフェ、食事、パーティー、エクササイズ、リラックスや瞑想など、これまでのオフィスビルの外に求めていた機能を、三密を避けるため、また不特定多数の人との接触を避けるために、社内で人同士の交流の促進が完結できる場所として変容する必要があると述べました。すなわち、都心のセンターオフィスは、社員が週に1~3回、行ってみたくなるオフィスとなるのが良く、その高機能で超快適な環境を、限られた社員だけが使えるのではなく、全社員が自由に使える場所になれば良いと思っています。その意味で、都市の魅力を高める MICE の考え方を社内で取り入れたミニ MICE を提案させていただきました。これにより、全社員の働き方が柔軟となり、各社員の事情に沿って仕事ができ、社員の会社に対するエンゲージメントが向上すれば、それこそが新しい働き方であると思っています。

今回の研究会は、三菱電機システムサービス株式会社の皆様、特に梅本様には何から何までお世話になり、誠に有り難うございました。本協議会が新たな一步を踏み出せたのも三菱電機システムサービス株式会社の皆様のおかげと深く感謝しております。本当に有り難うございました。

それでは、まだまだ全国の都会での感染者が増えている中、この状況は厳しくなることはあっても早急に回復することはなく、この中で如何にうまく人が仕事と生活のバランスを考えながら経済を回してゆく知恵を出して行く必要があります。会員のご苦勞も続くと思いますが、本協議会もささやかながら、ウイズコロナの中で研究会を続けながら、皆様とともに何か新たなものを見つけ出したいと、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

なお、私は始めて京急の青物横丁駅で降りましたが、品川の別を顔を知り、できれば旧東海道を見てみたいと思っています。